

東京局

公機密第六五三號

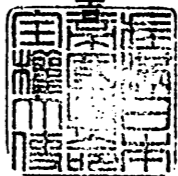
昭和十三年五月二十三日

第二課

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙

外務大臣 廣田 弘毅 殿



昭和十三年五月二十三日附
機密第九六號

民生部次長宛往信寫送付

件名

一、財團法人六烈士事蹟保存會解散方ニ關スル件

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 粘川納)



9170-1

525

寫

機密第九六號

昭和十三年五月二十三日

在滿

日本帝國大使館參事官 加藤 外松

滿洲帝國

民生部次長 宮澤 惟重 殿

財團法人六烈士事蹟保存會解散方ニ關スル件

哈爾濱ニ在ル「財團法人六烈士事蹟保存會」ハ沖、横川等六烈士ノ事蹟ヲ保存シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トシ設立者森島元在哈爾濱總領事名義ノ申請（別紙寫甲號）ニ依リ昭和九年五月十八日附ヲ以テ設立方許可（別紙寫乙號）セラレ在哈爾濱總領事館ニ設立登記ヲ了シタルモノナル處其ノ後幾何モ無ク同財團法人設立ノ根據ヲ爲ス寄附行爲第五條第一項ノ基本財産即チ財産目錄記載

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 粘川納)



9170-1

526

I-0398

0348

ノ土地六万坪全部ハ別ニ新京ニ設立ヲ見タル財團法人忠靈顯彰會
ニ於テ建設セラレタル哈爾濱忠靈塔境内ニ取入レラレタル爲メ大
ニ事情ニ變化ヲ來シ六烈士事蹟保存會ハ其ノ設立當初豫定シアリ
タル舊來ノ「志士ノ碑」ノ敷地擴張不可能トナリタル而巳ナラス
同シク財産目錄ニ記載ノ現金五千圓也モ當初所期ノ如ク寄附金集
ラザリシ爲現在ハ一千六百八十四圓七十一錢現存スルニ過キスレ
テ同財團存立ノ基礎タルヘキ基本財産ノ大部分ヲ缺キ財團タルノ
實質無之ニ至リ加フルニ當初理事評議員等ノ役員ニ選任セラレタ
ル在留民中ニハ轉任轉住其ノ他ノ事情ニテ離哈シタルモノ多ク現
在ニ於テハ森島元總領事以下當初關係者ノ殆ト全部ハ在住セス而
モ關係事務ハ昭和十一、二年交頃特務機關ヨリ日本居留民會ニ移
サレ又同總領事館ニ於ケル財團法人トシテノ登記ハ曩ノ治外法權

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 粘川納)



9170-1

527

撤廢ニ伴ヒ「法人登記」ノ一部トシテ貴國例ニ引繼シタリ
事情右ノ通ニシテ實質ナキ同財團法人ヲ此儘存置スル必要無キヲ
以テ速カニ解散セシメ度キモ關係者ノ大部分カ實際在哈セザル今
日寄附行爲所定ノ自發的解散ハ事實上不可能ノ狀態ナルニ儘キ貴
國主務官廳ヨリ解散ノ手續ヲ執ラルル様致シタキ旨在哈爾濱總領
事ヨリ稟申ノ次第有之タルニ付テハ上記ノ事情御了知ノ上同財團
法人ノ解散方可然御取計相成度此段照會申進ス

本信寫送付先 外務大臣

哈爾濱

(12. 11. 50.000 粘川納)



9170-1

528

在滿日本帝國大使館

I-0398

別紙甲

財団法人六烈士事蹟保存會設立許可申請
六烈士事蹟保存會設立者

哈爾濱市南崗義州街二五

申請人 森 島 守 人

右申請人ハ昭和九年二月二十六日別紙生前處分ノ寄附行爲ヲ以テ
六烈士事蹟保存會ヲ設置立致候右ハ六烈士ノ事蹟ヲ保存シ國民精
神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トスルモノニシテ公益ニ關スル財團ニ有之
候條法人トシテ設立ノ許可相成度民法第三十四條ニ依リ別紙寄附
行爲ノ書面相添此段申請候也

昭和九年二月二十六日

右 森 島 守 人 印

外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

在滿日本帝國大使館

S (60,000枚) 9170-1 529

財団法人六烈士事蹟保存會寄附行爲

第一章 目 的

第一條 本財団法人ハ六烈士ノ事蹟ヲ保存シ國民精神ノ作興ヲ圖
ルヲ以テ目的トス

第二條 本財団法人ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
哈爾濱郊外ニ現存スル横川、沖外四烈士ノ碑ヲ改修スル外該敷
地ヲ擴張シ併セテ記念館ヲ建設シ治タ六烈士ノ事蹟ヲ蒐集保存
シ以テ隨時之ヲ内外ニ宣傳ス

第二章 名 稱

第三條 本財団法人ハ財団法人六烈士事蹟保存會ト稱ス

第三章 事 務 所

第四條 本財団法人ノ事務所ヲ哈爾濱南崗大直街二六號ニ置ク

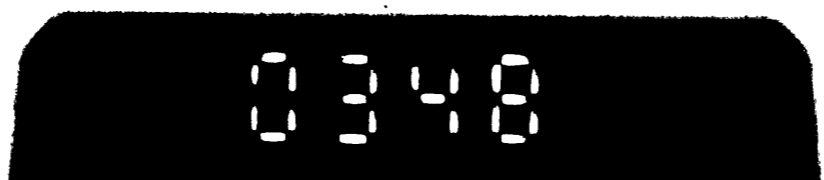
第四章 資 産

第五條 本財団法人ノ基本財産ハ設立者ノ寄附ニ係ル別紙財産目
録記載ノ金員及物件ヲ以テ組織ス

在滿日本帝國大使館

S (60,000枚) 9170-1 530

I-0398



設立後生スル左ノ收入ハ之ヲ第二條ノ施設及本財団法人ノ經費ニ充テ殘餘金ハ總テ基本財産ニ編入ス
一、本財団法人ノ目的ヲ贊助スル者ヨリ受入ルノ寄附金
二、本財団法人ノ財産ヨリ生スル果實
三、其ノ他ノ收入

第六條 本財団法人ノ基本財産ハ理事會及評議員會ノ決議ヲ經テ會長之ヲ管理シ其ノ利殖ヲ圖ルモノトス
前項ノ基本財産ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス
但シ非常事變ニ際シ難必要アル場合ニ於テ理事會一致ノ決議ヲ經且評議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニアラス

第七條 本財団法人ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第八條 理事ハ毎年三月當年度ニ於ケル事業ノ成績及次年度經費豫算ニ付監事及評議員會ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス
決算ハ毎年五月末日迄ニ之ヲ調製シ監事及評議員會ノ承認ヲ求

在滿日本帝國大使館

S 9170-1 531

ムルコトヲ要ス

第五章 役員

第九條 本財団法人ニ理事八名監事二名評議員若干名ヲ置ク
理事ハ會長一名、副會長二名ヲ互選ス

第十條 理事及監事ハ哈爾濱ニ在在スル帝國臣民中ヨリ哈爾濱駐在帝國領事官之ヲ選任ス
理事及監事ノ任期ハ夫々三年及一年トス但シ重任ヲ妨ケス
補缺ニ依リテ選任セラレタル理事及監事ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任迄ハ其ノ職務ヲ行フ

第十一條 評議員ハ哈爾濱ニ在在スル帝國臣民ニシテ本財団法人ノ目的ヲ翼賛スルモノ、中ヨリ理事三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長之ヲ推薦ス
評議員ノ任期ハ二年トス但シ重任ヲ妨ケス

在滿日本帝國大使館

S 9170-1 532

I-0398

前條第三項及第四項ノ規定ハ評議員ニ之ヲ準用ス

第十二條 理事ハ理事會ヲ組織シ本財団法人ノ業務ヲ處理ス

第十三條 會長ハ本財団法人ヲ代表シ業務一切ヲ統轄シ會議ノ議長トナル

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十四條 監事ハ財産及業務進行ノ狀況ヲ監査ス

第十五條 評議員ハ評議員會ヲ組織シ本財団法人ノ目的ノ完全ナル進行ヲ圖ル

第十六條 理事及監事ハ已ムヲ得ザル事情アルトキハ辭任スルコトヲ得

第十七條 理事監事及評議員ハ名譽職トス

第十八條 本財団法人ニ顧問若干名ヲ置クコトヲ得

顧問ハ會長之ヲ囑託ス

顧問ハ本財団法人ノ事業ニ關シ會長ノ諮問ニ應シ又ハ自ら意見ヲ述フルコトヲ得

在滿日本帝國大使館

S 4,60,000(株) 9170-1 533

第十九條 本財団法人ニ幹事一名ヲ置クコトヲ得幹事ハ會長之ヲ任免ス

幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ事務一切ヲ掌理スル外會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十條 本財団法人ニ書記其ノ他必要ナル人員ヲ置クコトヲ得

第六章 理事會及評議員會

第二十一條 理事會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス

第二十二條 評議員會ハ毎年二回會長之ヲ召集ス

但シ會長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ臨時之ヲ召集スルコトヲ得

第二十三條 評議員會ノ決議事項左ノ如シ

一 本財団法人ノ事業執行方法ニ關スル事項

二 基本財産ニ關スル事項

三 豫算及決算ニ關スル事項

四 其ノ他會長ニ於テ特ニ主要ト認メタル事項

在滿日本帝國大使館

S 4,60,000(株) 9170-1 534

第二十四條 會議ニ關スル細則ハ理事會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第七章 解散

第二十五條 第六條第二項但書ニ依リ本財團基本財産ノ全部ヲ處分シタル後理事會一致解散ノ決議ヲ爲シタルトキハ本財團法人ハ解散スルモノトス

第二十六條 本財團法人解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分方法ハ理事會ノ決議ヲ經且評議會三分ノ三以上ノ同意ヲ得テ之ヲ定ム

第八章 附則

第二十七條 本寄附行爲ノ施行ニ關シ必要ナル細則ハ理事會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第二十八條 本寄附行爲ハ理事會一致ノ決議ヲ經主務官廳ノ認可ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

右 設立人 森 島 守 人 團

在滿日本帝國大使館

9170-1 535

財産目録

一、現金五千圓也

二、土地六萬坪（此ノ價格時下金參萬圓也）

右ノ通候也

昭和九年二月二十六日

右 申請人 森 島 守 人 團

在滿日本帝國大使館

9170-1 536

I-0398

引換
紙
号

指令第四五號

財團法人六烈士事績保存會設立者

森島守人

昭和九年二月二十六日附申請財團法人六烈士事績保存會設立ノ件
許可ス但シ別紙附帶命令ヲ遵守スヘシ

昭和九年五月十八日

外務大臣 廣田 弘毅

在滿日本帝國大使館

S (10,000枚) 9170-1 537

附帶命令

財團法人六烈士事績保存會ハ在哈爾濱帝國總領事ノ指揮監督ヲ
受クヘシ

在滿日本帝國大使館

S (10,000枚) 9170-1 538

I-0398

0398

東發第一、五三六號

昭和十一年九月八日

ハルピン財團法人六烈士事績

東京事務所

渡邊頼惠



外務省東亞局第二課

小澤事務官殿

謹啓仕り候 陳者本會創立の趣旨を廣く天下に呼びかけ國民精神作
興に資すると共に本會の意義を發揮する目的を以て映畫「北滿の落
花」上映の爲め本月十七日より十一月末日迄名古屋、蕪都市、大
阪市、神戸市に左記所員を派遣可仕候條宣敷御願申上候

左記

敬具

監督 渡邊頼惠

日野輝藏

正國務

渡邊巖

森威男

近藤常望

以上



9170-1 540



9170-1 539

記
小澤



小澤



事務所所在地変更届

昭和十一年六月在雷東京事務所ヲ龙記
所ニ申届候

東京市廿三區田村町三十一番房七九
号兼都合之修ノ龙記へ移轉付候ニ付

現事務所所在地

東京市麹町区九段南一丁目拾番地
右及申届候也

昭和十三年三月十一日

財団法人のんこ六烈士業績保存会

東京事務所 飯山與七



9170-1 541

外務省東亞第三課中

昭三十三

本人持参



9170-1 542

東京霞関
外務大臣
有田八郎閣下
東亞局
第二課長

I-0398

0398

謹啓
秋冷ノ候益々御清穉奉欣賀候
陳者當地忠靈塔竣工、納骨式及慰靈祭舉
行ニ際シテハ御鄭重ナル平、祝電並供物
ヲ賜リ難有御禮申上候
御蔭ヲ以テ諸式滞リナク終了仕リ候段
重ホテ厚ク御禮申上候
敬具

昭和十一年十月

中川 廣
忠靈塔建設委員会
忠靈塔奉納所長

公 信 案

外 務 省

S

9170-1 543

I-0398

0398

寫

本省

東亞局

第二課

昭和十五年十月廿八日接受

公領機密第九〇一號

昭和十三年十一月二十四日

在哈爾濱

總領事 鶴見

憲

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙吉 殿

財團法人六烈士事蹟保存會設立許可取消方ニ
關スル件

本件ニ關シ五月十二日附公領機密第三八三號拙信稟請ニ對シ同月二十三日附機密第七七號貴信ヲ以テ民生部次長宛御照會寫御送付ニ相成タル處曩ニ同保存會ノ會務ヲ取扱ヒ居タル日本人會カ九月三十日限り解

9170-1 544



散シ目下殘務整理中ナル次第ハ十月十五日附公領第八一三號拙信報告ノ通ナルニ付テハ此ノ際成ル可ク早日ニ本件取消方御取還ヒ相成様御配慮相煩度
右重ネテ御依頼ス

本信寫送付先

外務大臣

9170-1 545



I-0398

外務省
為

東亞局

第三課

別紙添附

亞
13.12.28
三

機密第一二八號

昭和十三年十二月二十三日

昭和十三年十月廿八日接受

在滿洲國
特命全權大使 植田 謙吉

在哈爾濱
總領事 福見 憲 殿

財團法人六烈士事蹟保存會設立許可取消方ニ關
スル件

本件ニ關シ客月二十四日附公債機密第九〇一號貴信ヲ以テ御申越
ノ趣早速民政部次長宛再應申入置キタル處今般同次長ヨリ別添寫
ノ通本件取消手續終了ノ旨通報越セルニ付テハ委細右ニテ御了知
相成度此段回報申進ス

在滿日本帝國大使館

(18.4.60) S 9170-1 546

本信寫送付先 外務大臣

在滿日本帝國大使館

(18.4.60) S 9170-1 547

I-0398

0398

民官房發 第一七八〇號(民社發第二五二號)

康徳五年十二月十五日

民生部次長 宮澤惟重

在滿日本帝國大使館參事官

加藤 藤 外 松 股

財團法人六烈士事蹟保存會解散手續方終了ニ關スル件

昭和十三年五月二十三日機密第九六號及昭和十三年十一月二十九日機密第一六八號ニヨル財團法人六烈士事蹟保存會設立許可取消ノ件ニ關シテハ調査ノ結果實質無之モノト認定十二月十五日附本部訓令第一九四號ヲ以テ設立許可ヲ取消タルニ付此段御通知申上

尙ホ該會解散後ニ於テハ志士ノ碑ハ今因結成セラレタル哈爾濱市史蹟名勝保存會ヲシテ保管維持セシムルコトト相成タルニツキ事蹟保存會ノ殘餘財産一千六百八十四圓七十一錢也ハ該會ヨ

在滿日本帝國大使館

(18.4.60)

9170-1 548



市史蹟名勝保存會ニ引繼ガシメ本來ノ趣旨ニ遺憾ナカラシムル如ク取計ヒタルニツキ爲念申添フ

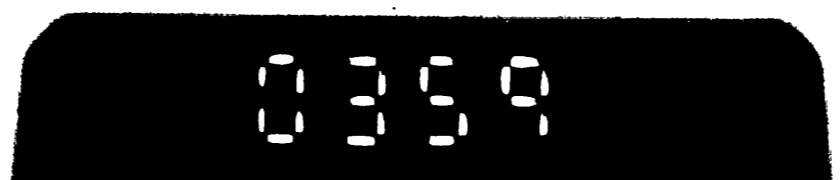
在滿日本帝國大使館

(18.4.60)



9170-1 549

I-0398



(2A)



9170-1 550

I-0398

0360